

## 【頭部外傷に関する疫学的な研究に診療記録を使用のお願い】

患者さんおよび患者関係の皆様へ

当病院(災害医療センター)では、入院された患者の皆様にも、医療の質的な向上を目指して真摯な努力をして重ねております。この活動の中には、得られた診療記録を検討し、解析することなどが含まれます。他の多くの施設とも協力して、より多くの診療データを集積して分析することも求められています。研究方法の一つとして症例の全国登録という方法が、開始されております。

頭部外傷に関する疫学的(えきがくてき)研究を進めるにあたり、あなたの「診療記録」をあなたの診療以外の目的で、利用させて頂くことについてご説明いたします。

方法は、あなたの診療を行った後に、あなたの「診療記録」を元に、医学的事象について検討するものです。診療後の作業ですから、あなたの診断や治療には直接影響いたしません。また、作業にあたって、あなたの年齢、性別、診断などの医学的な情報は必要ですが、あなたの氏名、生年月日など、個人の特定に繋がる情報は必要ありません。また、集積されたデータを分析し、解析した結果について、医学会などで公表し検討を行う場合においても、あなたのプライバシーが侵されることはありません。

以上の方法による「診療記録」の使用について拒否されることは自由意思であり、いつでもそのことを申し出ることができます。その場合においても、あなたが診療上なんら不利益を被ることはありません。

あなたの「診療記録」の利用は、頭部外傷に関する臨床実践を進めていく上で、より良質な医療の提供に結びつく大変重要なことと考えます。そして、このことは、私たち医療者の使命でもあります。

お分かりにならない点がありましたら、担当の医師にご質問ください。ここに述べた方法による「診療記録」の利用に、ぜひともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

独立行政法人国立病院機構 災害医療センター  
代表 脳神経外科 医長 早川隆宣